

みなとオアシス全国大会（みなとオアシス全国協議会総会第8回みなとまちづくり研究会、主催・ウオーターフロント開発協会）が11月11、12の両日、みなとオアシスKOBÉ（神戸港）の文化交流施設「神戸波止場町TEN×TEN」で開かれる。大会テーマは「マリントゥーリズム提唱」全国展開にむけて」と「平清盛が夢みた港の繁栄。大会の概要を、共催するNPO（民間非営利法人）神戸クランドアンカーの村上和子理事長に聞いた。

（聞き手 関西支局・瀬戸寛貴）

## 神戸グランドアンカー 村上和子理事長に聞く



『美しく・豊かで・味わい深いニッポン』を体感してもらおうと、東日本大震災で被災された港の復興支援だけでなく、全国のみなどの再生を図るテーマとしても大きな起爆剤になると考えています。

「今回、神戸から提唱させていただきます。『マリントゥーリズム』は、東日本大震災の復旧・復興や元気な日本の再生に向けて、それぞれの地域が互いに支え合う仕掛けづくりとしても効果が見込めます。また、将来的には国内だけでなく、中国や韓国、台湾などの東アジアの港を結ぶクルーズ客船による地域振興や観光振興にもつながっていくと思えます。」

「マリントゥーリズムは造る港など4000近くのみなとま語ですが、日本を取り囲む海やいろいろなみなと（港・津・泊・の輝きを放つ個性豊かに点在し姿）みなとまのさらなる発展を願い、将来的にも国際的にも広がりを持つテーマに育ってほしいとの願いを、この言葉に託しています。」

「日本には、大小合わせて約6800の島があり、海岸線は34万キロと世界で6番目の長さを誇ります。そしてこそは、日本の経済や生活を支える国際貿易港や漁港、かつて栄えていた歴史ありと連携しながら地域振興を図り、

「『マリントゥーリズム』は、21世紀の世界を結ぶ日本発の新しい観光の柱になると確信しています。行政やみなとオアシスの仲間、みなとオアシスマイスター、さらには海や港を愛する多くの人たちが共に手を携えて全国で提唱していくべきです。」

「『マリントゥーリズム』は、50件以上開催。施設の周辺には、新しいホテルなど企業の進出も穏やかに増え、イメージや景観は変化してきました。今後は、そうした企業や団体などと連携し、マリ

「みなとオアシスの全国大会が11月、神戸港で開催されます。」  
「当日は、理事会後の全国大会で『マリントゥーリズム』の提唱や神戸大学の神木哲男名誉教授による『海洋日本の観光戦略—平清盛が夢みた港の繁栄』と題した講演、交流会のほか、翌日には観光船に乗って神戸港を案内するツアーを企画しています。来賓として、観光庁の満畑宏長官や近畿地方整備局の小野憲司副局長、神戸市の矢田立郎市長など、国や市の方々もご参加いただく予定です。」

「全国大会では、村上さんが『マリントゥーリズム』を提唱されます。具体的な構想を教えてください。」

## みなとオアシス全国大会 来月11・12日、神戸

# 「みなとまち」発展と国際的な広がりを